




Liberté • Égalité • Fraternité  
RÉPUBLIQUE FRANÇAISE

MINISTÈRE DE  
LA TRANSITION  
ÉCOLOGIQUE  
ET SOLIDAIRE

持続可能な開発目標



# OBJECTIFS DE DÉVELOPPEMENT DURABLE



手を取りあう世界へ

POUR UNE PLANÈTE SOLIDAIRE

持続可能な開発目標を  
ウェブサイトをご覧ください

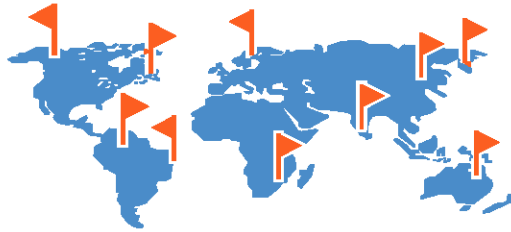
[www.agenda-2030.fr](http://www.agenda-2030.fr)



# 2030 アジェンダとは？



それは  
持続可能な開発の  
普遍的プログラム



2015年9月に  
ニューヨークで193カ国により  
採択されました

人類、地球、繁栄、平和のためにパートナーとともに目指す

## 17の目標



POUR UNE PLANÈTE SOLIDAIRE 手を取りあう世界へ

## フランスにおける 持続可能な開発目標（SDGs）の実施

「ハイレベル政治フォーラム 2018」は、水（SDG6）、クリーンで低価格なエネルギー（SDG7）、持続可能なまちづくり（SDG11）、責任ある消費と生産（SDG12）、陸上の生物多様性（SDG15）、パートナーシップ（SDG17）分野の持続可能な開発目標に取り組みます。



## 持続可能な開発目標を紹介するウェブサイト

フランス政府は「2030 アジェンダ」を知ってもらうためのウェブサイト [agenda-2030.fr](http://agenda-2030.fr) を開設しました。模範的プロジェクト、地域のイニシアティブ、啓発イベントなどを定期的に紹介しています。また、SDGs 実施に参加する全ての人のイニシアティブを結束させるためのロゴ「**Pour une planète solidaire**」（手を取りあう世界へ）をダウンロードすることができます。

## 持続可能な開発目標の初のアンバサダー、 エネルギー・オブザーバー

エネルギー・オブザーバー（Energy Observer）は世界初の水素燃料船で、温室効果ガスも微粒子も排出せずに、6年間かけて世界 50 カ国の 101 都市をまわる予定です。未来をかけたこの航海は、環境移行のための教育、啓発および革新的ソリューションの発見を目的としています。このミッションを遂行するのは、プロジェクト創設者であり船長のヴィクトリアン・エルサール氏と、遠征隊長のジェローム・ドゥラフォス氏です。各寄港地での彼らの様子は [www.energy-observer.org](http://www.energy-observer.org) でご覧いただけます。

## 持続可能な開発に関する新しい普遍的ロードマップ

2015年9月、193の国連加盟国は2030年までの持続可能な開発計画を採択しました。人類（People）、地球（Planet）、繁栄（Prosperity）、平和（Peace）、パートナーシップ（Partnership）のいわゆる「5P」のためのアジェンダです。そのビジョンは、貧困を撲滅し持続可能な開発への移行を確実に行うことで、私たちの世界を変革することを可能にするというものです。

17の持続可能な開発目標（SDGs）およびその169のターゲット（下位目標）が2030アジェンダの中心を成しています。これらの対象範囲と野心は、2000年に採択されたミレニアム開発目標と比べて大幅に強化されています。すなわち、持続可能な開発の3つの側面が、今後は横断的に統合されます。SDGsは、気候、生物多様性、エネルギー、水だけでなく、貧困、ジェンダー平等、経済繁栄、さらには平和、農業、教育といった、持続可能な開発課題の全てをカバーしています。

また2030アジェンダの特徴は、異なるテーマ間の本質的繋がりを認識することです。

### ハイレベル政治フォーラム2018への参加

全ての国は、多様な状況を考慮しつつ、同レベルの野心をもって全てのアジェンダを実施しなければなりません。各国は、国連ハイレベル政治フォーラムで毎年進捗状況を報告します。

国連持続可能な開発会議「リオ+20」において設立されたこのフォーラムは、SDGs達成に向けた進展のフォローアップをするために、閣僚級会議を毎年開催し、首脳級会議を4年に一度に開催しています。

環境連帯移行省  
**Ministère de la Transition  
écologique et solidaire**

Hôtel de Roquelaure 246  
boulevard Saint-Germain  
75007 Paris

Tél. 33 (0)1 40 81 21 22



2030アジェンダの採択以来、フランスはフォーラムにおいてSDGs実施の進捗状況について毎年報告を行っています。2018年のフォーラムは、「持続可能で強靱な社会に向けた転換」をテーマとし、水、クリーンで低価格なエネルギー、持続可能なまちづくり、責任ある消費と生産、陸上の生物多様性およびパートナーシップ分野のSDGsに取り組みます。

こうした目標の実現には、パートナーシップの構築とともに、省庁、企業、組合、研究者、協会、地方自治体、市民など全ての当事者の動員を促すことが非常に重要です。

フランスでは、環境連帯移行省が、ヨーロッパ・外務省と緊密に連携しつつ、国内におけるSDGs実施の舵取りをし、市民社会の組織との協議を行っています。

### 持続可能な開発目標実施のための新たな推進力

首相を議長とし、ブリュヌ・ポワルソン国務大臣・環境連帯移行大臣付副大臣の出席の下、2018年2月8日に開かれた国際協力・開発省庁間委員会（CICID）において、政府は国内および国際レベルでのSDGs実施への取り組みを再確認しました。それは、持続可能な開発に有益となるよう政策に一貫性をもたせ、2030アジェンダおよびパリ協定の実施において相乗効果を高めるといったものです。

フランスによるSDGs実施に関するロードマップは、持続可能な開発に関する政府代表が、関係者全体と協議を行いながら策定しています。また上級運営委員会が責任者として、その実施の調整と、省庁および社会全体の一丸となった取り組みを監督します。このロードマップは、SDGsに関する公共政策レビューを経て、SDGs達成のためフランスが取るべき優先的アクションを定めるものとなるでしょう。

